

図書館だより



京都市立九条中学校

図書館

令和7年度 第4号

いよいよ夏休みも目前です。平和な世界を祈念しつつ、思い思いの有意義な休暇にしてくださいね。授業が一月以上完全にストップする夏休み。今しかできないことに、ぜひチャレンジしてみましょう。



読書感想文を書いてみよう！

読書を通して、ぜひ自分の思考や感情をぜひ言語化してみましょう。あなたの成長の一役買ってくれるはずです！

★書くことによって考えを深められるので、『考える読書』とも言われます。

★新しい知識や考えを得る【インプット】、書いて伝える【アウトプット】、その両方が身につきます。

★「書く力」斎藤孝著 大和書房 には「書く力のトレーニングになる」と述べられています。

↑その方法①性質の異なるおもしろいところを3か所選ぶ。

②3か所について、著者ではなく自分が言いたいコメントをまとめる。

③3つのコメントの相互関係を考えて配列する。

図書館にあります。興味のある人は読んでみてください。

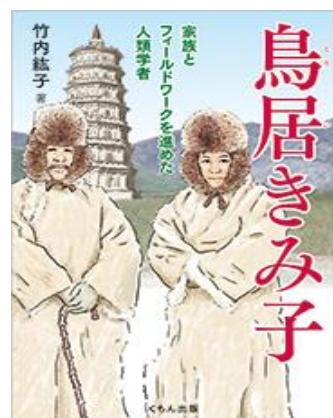
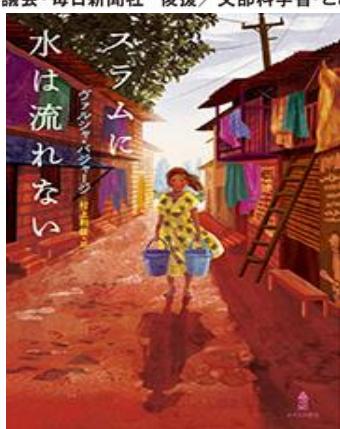
3冊とも図書館にあります
出品してみませんか？

読むこと、書くこと、自分を知ること。



第71回 青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／文部科学省・こども家庭庁 協賛／サントリーホールディングス株式会社



●「わたしは食べるのが下手」 天川栄人 作 小峰書店

会食恐怖症と摂食障害。ふたりの少女がたどり着いた正しい“食”との向き合い方とは。わたしたちが望む給食って、どんなだろう？

【みどころ】

食にまつわる悩みを抱えたふたりの中学生が、背中を押してくれる先生や、様々な環境の友だちとのかかわりを通して、少しずつ悩みと向き合っていく様子が描かれています。食べることの大切さを教えてくれる物語です。



●「スラムに水は流れない」 ヴァルシャ・バジャージ 作 村上利佳 訳 あすなろ書房

インドのスラムは水の供給が極端に悪かった。少女ミニニは水関連の事件や母が倒れるなどの試練の中、健気に生きぬいていく。

【みどころ】



スラムはムンバイの人口の40%が住んでいる場所ですが、水は5%しか供給されていません。兄が身をかくして残された少女ミニニは、母が倒れるなど次々とふりかかる試練にまけず知恵を働かせ難題をのりこえていきます。

●「鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者」

竹内絃子 著 くもん出版

「知の巨人」ともいわれた夫の鳥居龍蔵や家族とともに、人類学の研究に取り組み、調査を進めた鳥居きみ子の生き様を描く作品。

【みどころ】

調査に加わる子どもたちを母として気遣い、励まし、また研究者としてやるべき調査を進めました。「家族で調査・が厳しい時代を生き抜いた、鳥居きみ子

研究する」という形で女性の活躍の生涯が胸に迫ります。



★学級文庫を回収します！

- ・教養委員さんに協力して、全冊そろえましょう！
- ・見当たらない本があるときは、クラスで責任をもって必ず探し出してください。

7月14日(月)

★選書会を開催します！ 7月16日(水) 美術室 13:30より

- ・1時間程度ですが、本屋さんのように多種多様な書籍が並びます。
- ・読みたい本や学習に活用できそうな本をさがし、購入候補としてしおりをはさみましょう。

おことわり 予算と蔵書のバランスがあるため、残念ながら選ばれた本をすべて購入することは難しいです 😞